

## 家の玄関からジブラルタル海峡まで

2016年10月12日、家を出て、妻はぼくを車で蒲郡駅まで送ってくれた。JRの在来線、新幹線を乗り継いで、下関で降りて松村さんに釜山行のフェリー乗り場まで車で送ってもらった。韓国では松村さん紹介のナザレ園の「韓国の日本人妻たち」に合い親交を深め二度と戦争を起こさしてはならないと心を新たにした。ソウルではNanaとその友人たちと笑いヨガなどで遊び仁川から中国青島行のフェリーに乗った。青島から列車やバスを乗り継ぎ西安でペイペイとその部下たちに会い、ごちそうしてもらったり、笑いヨガで遊んだりした。さらに西へ西へと進み、カザフスタンのアルマティで美少女Noraに会った。Noraに助けられ、町のおばあさんたちと、笑いヨガやジブリッシュを楽しんだ。カスピ海へ向かう列車のなかでも同室の人たちと笑いヨガを楽しんだ。カザフスタンやウズベキスタンでは第二次大戦後ソ連に連行され強制労働させられこの地で亡くなった日本人墓地を参拝して、不戦を誓った。11月のはじめついに憧れのカスピ海に着いた。

(2017年5月31日現在、ここからは未来のことを書きます)

2017年6月23日カスピ海のアクタウから船に乗りアゼルバイジャンのバクーに着く。バクーからバスでジョージアに行く。アゼルバイジャンやジョージアでは必ずその国の人たちと笑いヨガをする。そしてどの国でも必ずその国の切手を買って妻や日本の友人たちにはがきを出す。この二つのことはこれから訪問するすべての国でも必ず実行したい。(はがきびとの集い in 幸田では「旅行中妻に宛てたはがき」を展示する)ジョージアのコブレティから船に乗り黒海を渡り、ルーマニアのコンスタンツェに着く。6月27日ブカレストからブルガリアのソフィアに着き古い街並みを散策する。旧ユーゴから分離したマケドニア、コソボ、モンテネグロ、セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、スロベニアなどを訪問する。7月1日イタリアへ入り、ベネチア→ミラノ→トリノと行き、フランスに入りリヨン→ル・ビュへ入り、ここからフランス国内からのスペイン巡礼の旅が始まる。7月12日イルンからスペインに入り「プリミティボの道(北の道)」に入る。7月13日ピカソの絵で有名なゲルニカを訪れ、ナチスが空爆した痕跡は見られないものの、ゲルニカ平和博物館を訪れ平和の尊さを体感したい。7月18日「フランス人の道」に合流し、本格的にスペイン巡礼の旅となる。8月5日サンチャゴ・デ・コンポステーラに着きさらに足を延ばし大西洋に面したフェスティエラに着く。8月10日ポルトガルに入り巡礼路「ポルトガルの道」を逆に歩き、8月17日再びスペインに入り、セビージャを経てジブラルタルに着き海辺に出て海峡の向こうのアフリカ大陸を望む。

旅終るジブラルタルや秋の蝉

## 最近思うこと

◎石川県に住むMさんから一人新聞『庸徳庸行』が送られてくる。今回心に響いた言葉は「私利を去る」である。何事も私利を去ることを心掛けていけばすべて物事はうまく運ぶであろう。しかしながら実際は欲望や打算が働き、心の迷いが生じる。人間であるかぎり「私利を去る」ことは難しいことであるがことをなすときはいつもこの言葉を自らにいいきかせたいものである。◎東京都のAさんからは「生き生きライフ通信」が送られてくる。親鸞の生き方を中心にものを書いていただいている。「名聞、利養、勝他の世間的価値観に振り回されない生活が出世間道に立つ」ということであるが、「親鸞という人は死

ぬまで、名聞、利養、勝他でしか生きてない自分であることを認識していた人でした」とある。わたしは大学院で5年間仏教学を勉強したけれど、わたしの師は「自分は仏道に悟った」という人がいるが、人間は悟ることは出来るものではないといわれた。親鸞でさえ名聞、利養、勝他でしか生きてない自分であることを告白しているのだから、せめて悟っていない自分を認識することが大切だとも思う。◎広島県のKさんは、15年前進行性胃癌に侵され「3年か長くて5年」と宣告された。手術をして14年、最近また肝臓癌を発病し、それでもなお80歳の今日まで入院以外の日は会社へ出勤し経営に携わり掃除活動は20年を超え地域に歓迎されている。Kさんの自慢は胃癌の全摘手術をした日もディリーメッセージを続けたことである。ディリーメッセージはインターネットにもアップし続け73,000号を超えた。Kさんの目標は88歳まで生きてディリーメッセージを1万号に届くようにすることだ。Kさんはまたはがきをよく書かれる。わたしにも週一のペースでおはがきをいただく。今年の3月1日現在87,000通を書かれているが生涯目標として10万通を超えたいと言われる。「ディリーメッセージ」「はがき」「掃除」がKさんの3大目標である。癌を持つ人は目標を持つことが大切である、と言われる。Kさんの目標は癌との良い付き合いの中で達成されるものと信じる。◎45年来親しくしている税理士が、癌で緩和ケア病室に入ってしまった。病室を訪れると、意外にも彼の声に張りがあった。「病院ではもう治療法がないので、あとはもう、『笑いヨガ』と『ありがとうございます10万回』をやるだけだ」と彼は言う。歎異抄では、阿弥陀仏の誓願の不思議の力によってひたすら念仏を唱えるよう勧める。すなわち我々は他力本願とすることだというのである。工藤房美さんは、人に対しても、自分にも、癌でさえあらゆるものに心をこめて「ありがとうございます」を10万回唱えて内なる神の力、すなわち他力本願によって重大な癌を克服したのである。いくら頑張っても解決することのない悩みや困難も笑いヨガという他力本願によって、解消するのではないかと思う。わたしは病室を去る時、これからは「笑いヨガ」と「ありがとうございます10万回」と「カーちゃんとはグ」の三大他力本願によるべしだね、と言った。そしてこれはみんなタダだよ。「あっ、それから治ったら、また夫婦二組で海外旅行しよう」と、わたしは言った。

## 読者へお願い

- ① 120歳通信6月号でお知らせしました「ありがとう共和国笑いヨガリーダー養成講座」にご参加と応援をお願いします。尚ご協力していただける方と思える方にはこの講座のピラ（120歳通信6月号）を複数枚同封しますので、よろしくをお願いします。この養成講座では、めぐちゃん母子出演による笑いヨガのDVDを作成します。このDVDは『ガンは心で治せ』は吉見の癌体験を中心に、癌は「笑いヨガ」や「ありがとうございます10万回」を実行し、心で治すものであることを謳います。この本は来年の「125歳宣言の集い in 熊本」で発売できるよう頑張ります。
- ② 一部の方に7月13日～17日～笑いヨガワールドフェスティバル沖縄～のチラシを同封しましたのでよろしくをお願いします。
- ③ 河村光恵さん著作の『末期ガンからの生還』（750円）と河村さんお勧めのタラの木（2000円）は地味ではありますが根強い支持を受けております。G&Gお申込みリストによってお申込み下さい。
- ④ 『ひとふで書き世界一周の旅——家の玄関からジブラルタル海峡まで』（仮題）は来年の1月25日の125歳宣言の集い in 熊本に間に合わせます。予約を受け付けております。
- ⑤ 既刊のDVD『ガン患者と家族のための笑いヨガ』、地球迷走シリーズ『中国の辺疆に行く』『南南東へ進め』もよろしくをお願いします。